

事業所名

児童発達支援 西宮たんぼぼ（つぼみ）

作成日 2025年2月20日

法人理念	「共に生きる」 誰もが必要とされ、認められて生きる場です。こども達の好奇心や想像力、個性が花開くよう、世代を超えた様々な立場の大人たちが集いこども達の好奇心や想像力、個性が花開くよう、見守っていきたくと考えます。発育の困難や個性を理解し、共に生きる場として。			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・発育の困難を持っているこどもが、地域でいきいきと暮らせるように ・さまざまな発育の困難さに理解を深くし、ご家庭に寄り添い、共に成長する ・毎日を新しく始め、何事にも好奇心を持ち学び続けていく 			
営業時間	8 時	から	15 時半	送迎実施の有無 なし
主な支援内容				
本人支援	健康・生活	安定した生活リズムを大切に、衣類の着脱や排せつ等の年齢や発達に合わせた基本的な生活習慣の習得をサポートします。調理工程や食材に触れる経験を通して、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、自身で調理をしておともだちと一緒に食べる経験を通して、食べる喜びを感じられる機会を設けます。		
	運動・感覚	お散歩や外遊びを通して、姿勢の保持や、体幹の整え、バランス感覚を養うこと等の身体作りを行います。園芸活動を通し、土の感触や水の感触に触れたり、できた野菜を手にとって、手触りを感じたり、匂いを嗅いだり、かじったりすることで、身体の感覚を存分に使う体験を行います。また、調理や工作を通して、切ったりちぎったりして手先を使ったり、道具の操作に取り組んでいきます。		
	認知・行動	植物をお世話をする経験を通し、植物が変化し育っていく様子を観察していくことで、季節や気候の感覚や、流れる時間の感覚、実体験を通して体感し、身に着けていきます。調理活動を通し、材料の大きい・小さい、重い・軽い、多い・少ない等をとおした数や量の概念の形成を図ります。また、感覚遊びや工作活動を通し、色や形への意識を高めていきます。		
	言語 コミュニケーション	自身の言いたいことを表現していくことに繋がるように、気持ちを丁寧に汲み取り、時に待ち、時に代弁をしていきます。気持ちが相手に伝わる喜びを感じていく成功体験を積み重ねます。手遊びや、制作、調理工程等で、職員の動作を楽しんで真似をしたりする機会を設けていくことで、模倣の力を育てていきます。		
	人間関係 社会性	安心できる相手とのスキンシップや遊びを通して、人への関心を高めていくとともに、信頼関係を構築していきます。また、職員の仲介でおともだちと遊ぶ経験を重ねていき、一緒に遊ぶ楽しさを感じたり、順番を待つことや、物の貸し借り等の経験を積み重ねます。また、地域のお店にお買い物に行くことを通し、挨拶をすること、お礼を伝えること等の多様な人との関わりにも取り組んでいきます。		
家族支援	送迎時にご家庭や学校園での様子を共有する時間を設けるとともに、保護者からのお悩みやご相談に対応していきます。定期面談（6か月に1回以上）や必要に応じた事業所内相談、家庭訪問等の時間を設定し、こどもの成長や課題について保護者と話し合っていきます。	移行支援	就学、就園に向けての情報提供を行います。保護者の作成するサポートブックに対し、アドバイスをを行い、安心した移行を支援します。幼稚園や保育園等との連携をはかり、支援体制を構築していきます。	
地域支援・地域連携	療育の中で地域の神社やお店へ出かける機会を積極的に設け、繋がりを作っていきます。地域で子育てに悩む方や、居場所を求めている方、誰もが来られる場所の提供を行います（法人運営「みんなのいえ」）	職員の質の向上	年に2回以上の外部研修を受講し、こどもの特性に応じた対応など、職員の資質向上に努めていきます。日々の振返りを大切に、内部研修や勉強会を実施します。	
主な行事等	クリスマス会、進級・卒園式、収穫祭等の季節の祝祭、親子遠足、こっそり参観、親子ふれあいデー、絵画の日、音楽の日 保護者会、ペアレントプログラム等の保護者向けの行事 バザーや、火を囲む会（神社での昔遊びや炊き出し）等の地域に開かれたイベント 等			